

令和4年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	与野本町老人憩いの家															
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市中央区本町東5-17-25</p> <p>②施設の設置目的 地域の高齢者に対し、教養の向上、レクリエーション等のための憩いの場を供与し、心身の健康の増進を図る。</p> <p>③施設の概要 開設年月 平成9年9月 構造 鉄筋コンクリート造 2階建(与野本町児童センター)の一部 主な施設 和室、ラウンジ</p>															
(3)指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団															
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和2年度 329千円 令和3年度 329千円 令和4年度 329千円</p>															
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 ・利用者数 332人(前年度173人)</p> <p>◇業務実施状況 「シニア世代の生きがい、やりがいを応援し、地域の中で笑顔で繋がる老人憩いの家」を目指し、令和4年度は後半より、団体の利用の再開等もあり、昨年度よりも利用数が増え始めた。前年度運営協議会にてご要望のあった、高テーブルと椅子、を購入し、ご利用いただいている。また、地域包括支援センターとの繋がりもでき、地域の団体の利用が増えた。</p> <p>②維持管理業務の状況 業者による定期的な施設設備の点検や修繕、職員による安全点検、清掃の実施し、利用者の安全確保に努めた。</p> <p>③その他の業務 児童センターde花づくり、工作、避難訓練等</p>															
(6)収支状況	<p>①収入</p> <table border="0" data-bbox="534 1704 1236 1771"> <tr> <td>・指定管理料収入</td> <td>329千円</td> <td>(前年度 329千円)</td> </tr> <tr> <td>・その他</td> <td>1,917千円</td> <td>(前年度 0円)</td> </tr> </table> <p>②支出</p> <table border="0" data-bbox="534 1800 1236 1901"> <tr> <td>・事業費</td> <td>114千円</td> <td>(前年度 1千円)</td> </tr> <tr> <td>・事務費</td> <td>122千円</td> <td>(前年度 113千円)</td> </tr> <tr> <td>・繰入金</td> <td>1,937千円</td> <td>(前年度 0円)</td> </tr> </table>	・指定管理料収入	329千円	(前年度 329千円)	・その他	1,917千円	(前年度 0円)	・事業費	114千円	(前年度 1千円)	・事務費	122千円	(前年度 113千円)	・繰入金	1,937千円	(前年度 0円)
・指定管理料収入	329千円	(前年度 329千円)														
・その他	1,917千円	(前年度 0円)														
・事業費	114千円	(前年度 1千円)														
・事務費	122千円	(前年度 113千円)														
・繰入金	1,937千円	(前年度 0円)														
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	前年度運営協議会にてご意見のあった、高テーブルと椅子を購入し、ご利用いただいている。利用者アンケートからは、ご要望は無かったが、利用者とのやり取りの中から姿見(全身鏡)があると良いとのが分かったので、購入する予定。															
(8)その他																

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
介護予防と健康づくりの促進	保健センター保健師による健康講話を予定していたが、コロナウイルス感染症の対応により中止となった。
生きがいづくりの支援	高齢者による、おはなしボランティアや、隣接した住民の方による年間を通した施設の花木の手入れや花苗を植える土作りなどにより、子ども達が笑顔になる時間を作る事ができ、高齢者の活躍の場となっている。
支え合う活力のあるまちづくりの促進	地域の高齢者が生き生きと生活ができるよう、地域包括支援センターと繋がりを持ち、健康体操等の団体の利用の促進をした。
児童とのふれあいの場、高齢者が活躍できる場の提供	新型コロナウイルス感染症が流行していた為、児童、高齢者それぞれで作り物をし、同じ場所に飾る事で1つの作品とし合同作品とした。また、中央区の活動でもある花づくりでは、幼児親子～高齢者までが一緒になって花苗を植え体験をし、交流の場となった。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

新型コロナウイルス感染症が、年度の後半は少しずつ減少し利用の緩和をする中で、団体の利用が少しずつ再開されてきた。地域包括支援センターとの関係ができたので、今後も地域の関係施設として関わっていきたい。また、お話ボランティアの活動も再開し、高齢者と幼児親子、児童との交流の場となった。一昨年前の運営協議会でのご意見にあった、高テーブル、椅子の設置について購入をし、ご利用いただきやすいよう改善をした。今後も、安心してご利用いただける施設を目指していく。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A～D

1 項目別の評価

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

- ・地域包括支援センターと繋がりを持ち、健康体操等の団体の利用の促進に繋げた点を評価した。

(2)「経費の削減」に対する評価

- ・予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。(水道光熱費の高騰による影響は除く。)

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

- ・児童をはじめ多世代で利用する複合施設であるが、新型コロナウイルスの影響が続いている中、感染対策の徹底及び、未然防止措置の対応により大きな影響もなく、安定した運営が行えた点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。